

珠算の使命にないつつ

監査委員 澤田幸子

この度、公益社団法人全国珠算教育連盟静岡支部の監査委員をお引き受け致しました。今期は静岡県珠算協会発足七十周年、全珠連創立六十周年という記念すべき節目の年度です。又、全珠連は、公益社団法人移行にともない珠算団体として活動の内容、条件等色々な面で制約があるかと思えます。私も勉強させていただきながら、お役目を果たしてまいる所存です。

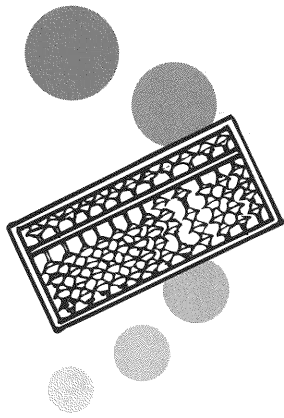
改めて、静岡県珠算協会の歩みをひもどきましたら、昭和二十八年〜十九年にかけて静岡県の珠算界に君臨するご立派な先輩諸氏の度重なる話し合いと努力により一本化され全珠連静岡支部が設立され現在に至っています。

第一回研究発表会(現在の全国珠算研究集会)は昭和二十九年十二月に、伊東市立東小学校に於いて開催され発表者は、故兼子誠次先生です。第八回から「珠算研究集会」と名称を改めて、毎年休むことなく現在も続いています。又、第一回幹部指導者養成講習会(幹講)も昭和三十一年八月二十一日から二十七日まで静岡引佐郡奥山の「方広寺」で行われ、その内容は、教育原理・心理学・小、中学校の珠算の取り扱い方・高等学校の商

業科の在り方・指導法・算法論(開法を含む)等、講師陣は、故土師民三郎先生、故兼子誠次先生、静岡大学教授二名、県教育委員会指導主事、何と文部省より大楚事務官が「学校珠算教育のあり方」と題して、講師を努めていらつしやいます。

文部省から大楚事務官の出講は重要な意味を持つていたと記されています。それは、その後文部省は事務官の報告によつて十一月十五日全珠連に「社団法人」を許可したそうです(静岡県珠算史より抜粋)

静岡県珠算界の大先輩の方々のたどつてきた道のりは、常に全珠連の中心的存在であり六十年間の基礎を築き上げられたと言つても過言ではないと思えます。この節目にあたり、会員一人一人が、強い友情と絆を持つて全珠連の歌詞にもありますように、珠算の栄え祈りつつ、珠算の使命にないつつ、珠算の理想かかげつつ、珠算の道を究めようではありませんか。



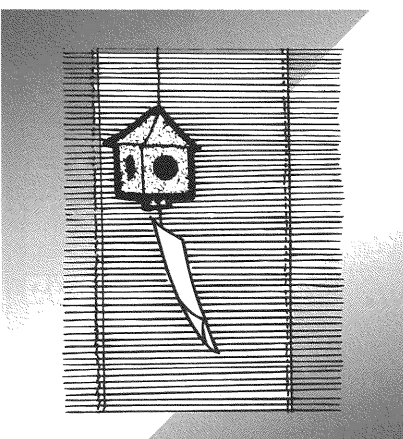
研修部長をお受けして

徳増久夫

この度、研修部長を担当させて頂くことになりました。浜松地区の徳増です。支部会員の皆様よろしくお願い致します。なぜ私が研修なのかと自問自答したところ、私が浅学でありもつと修行(勉強)をしないさいと珠算界の神様が支部長を通じて信号を発信したのだと勝手に判断しました。

私は前任者の深澤先生のように研修部の業務をつつがなく運営できるかとこの点については、自信がありません。不安が一杯です。しかし失敗をおそれては何事もできません。皆様の力添えを頂いて、前に進む所存です。中でもそろばん静岡の原稿依頼については、快くお引き受けくださるようお願い致します。

私が病で倒れた父の後を継いで浜松地区会員となつて以来、定年退職するまでずっと(二足のわらじ)を履いてこられたのも、地区の皆様方のご理解・ご協力が得られたことと感謝しております。これまで一会員として次のふたつを重要視してきました。第一は検定試験の受験協力、次は指導者講習会にできる限り出席をして己の研鑽に努める事です。



私が最真にしているテレビ番組の中に「和風総本家」TV愛知放映があります。この番組は日本中の職人さんの技の匠を紹介しています。TV画面で紹介される方は皆さん(名人または達人)と呼ばれている方々です。仕事の素晴らしさには拍手喝さいです。番組スタッフから仕事の出来栄を賞賛されると、ほとんどの方が「これで良いということはない。一生修行(勉強)だよ!」と返答されます。正に名言。平成二十六年五月十八日に、協会創立七十周年・支部創立六十周年を記念しての指導者講習会等の一大行事が開催されます。会員の皆様のご協力が最も重要です。是非ともご協力くださるよう、お願い申しあげます。終わりに、「和風総本家」の番組終了のナレーションを紹介させて頂きます。「ニッポンで、いいな!」「くわえて」「ソロバンで、いいな!」